



坂本3園交流会開催!

6月18日にはなのきセンタープレイルームで坂本3園交流会が開催されました。坂本3園とは坂本幼稚園、坂本保育園、めぐみ保育園の3園です。坂本は小学校が1校ですから、卒園して、小学校に入学すると同学年で学校生活を送ることになります。出身園の枠を超えて、入学前からいろいろな行事で顔を合わせることはとても大切なことだと考えています。そして、もっと大事だと考えていることは、写真の子どもたちの表情を見ていただければ分かるように、生の人形劇を鑑賞することは、子供の情操教育にとってもいいということです。人形劇に集中して、感情移入し、目の輝きが違います。3園の子どもたちが同じ時間と空間を共有し、同じ体験をする。これが将来、小学校に入学してから「あの人形劇おもしろかったね。」との共通の話題につながり、友達の輪が広がることになるのではと考えています。この3園交流会には社会福祉協議会坂本支部（小池年久支部長）と青少年健全育成推進市民会議坂本支部（幸脇康行支部長）から補助金をいただいている。



中津川市青少年健全育成推進市民会議坂本支部では6月28日に坂本公民館ホールにおいて第1回補導部会を開催しました。会議の冒頭、第30回中津川市少年の主張に坂本中学校の代表として発表する3年生の荒尾佑樹くんが皆さんの前で練習を兼ねて発表してくれました。「祖父の優しさから」というタイトルで、農業を通してのおじいさんの消費者に対する「丹精をこめる」という無償の優しさとそしてそれはどの生産者にも通じるという気づき！これは荒尾くんの家族のそれぞれの思いやりの賜物だと感じました。内容もさることながら話し方や姿勢など発表態度もすばらしく、これは本番が楽しみだとワクワクする思いを私は抑えられませんでした。本番は6月30日にアートピア付知で開催され、荒尾くんはくじ引きで12人の発表者中11番目を引いてしまいましたので彼にとってはとても長い一日になったことだと思います。それでも見事に発表し2番目の優秀賞を獲得しました。おめでとうございます。その優しさをいつまでも忘れず人生を歩んでいってほしいと思います。さて、補導部会では7月の社会を明るくする運動強調月間の取り組み、夏休みの補導活動の日程などを決定しました。また、補導活動については坂本交番の鈴木巡査長から心得などを話していただき、今年もパトカーと連携して取り組むことを確認しました。補導員さん、がんばりまっしょい！

地域版広報 さかもと

平成22年8月1日号
坂本コミュニティセンター
TEL 68-2001
FAX 78-0002

坂本の人口	12,837人(男:6,335人 女:6,502人)	世帯数4,394	【平成22年 6月末現在】
	12,824人(男:6,335人 女:6,489人)	世帯数4,393	【平成22年 5月末現在】



7月7日にはなのきセンターで坂本地区市政懇談会が開催されました。市執行部は大山市長、水野副市長、林地域振興局長、坂巻坂本コミセン所長の4人。区民側は坂本地域まちづくり推進協議会（中嶋洋之会長）委員と坂本地域まちづくりビジョン策定委員会（近藤光清委員長）委員の40名が出席しました。また、坂本地区の市議会議員4名も出席されました。懇談会は、中嶋会長のあいさつ、大山市長の市政報告の後、可知忠勝副会長の司会によりフリートーク形式で開始されました。発言は、いわゆる文教地区の整備に関する事、インター出入口付近の交通政策のこと、児童生徒の通学路の安全対策のこと、千旦林地区への開業医誘致及び市民病院の医師不足の対応のこと、産業廃棄物の問題、下水道処理場のイメージアップのことなどが話されました。市長が総括として、熱心な討議に謝辞を述べた後、「市政懇談会は今まで年に1回で恐縮だが、年に1回でない話についてはコミセン所長が地域の要望を十分に吸い上げるようにさせる。坂本は市内で一番人口が多い地区であることは認識していて、その声を大事にしたいと考えている。」と締めくくられました。最後に幸脇謙副会長が「坂本地区の将来展望を区民の声を聴き、まち協、ビジョン策定委員会などが一致団結して取り組んでいきたい。」と述べ閉会しました。

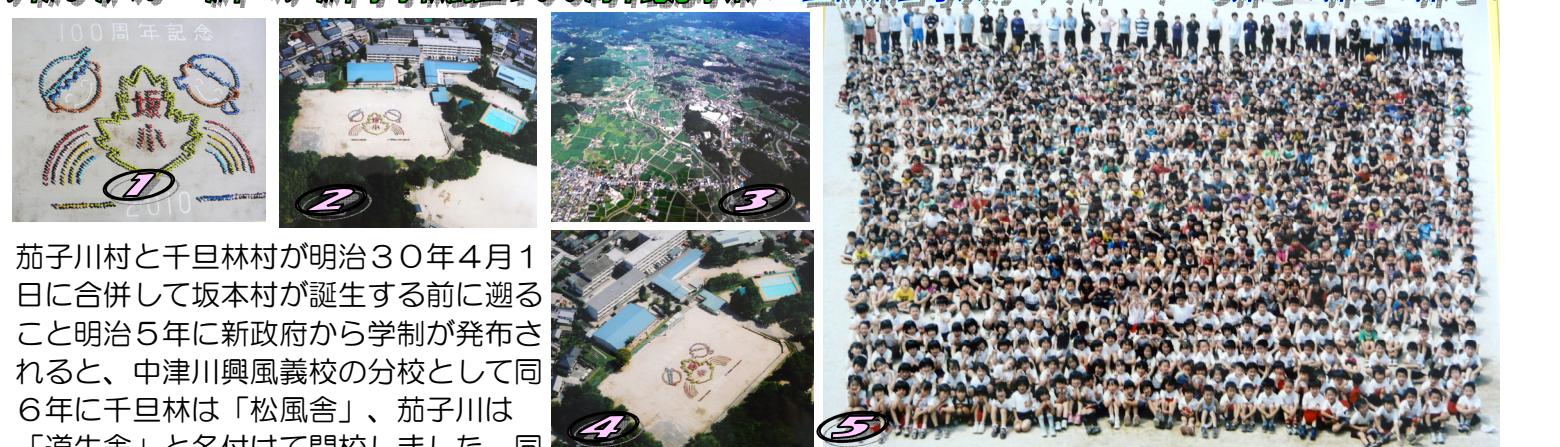


第18回坂本区民インディアカ大会



6月27日に北部体育館において第18回坂本区民インディアカ大会が開催されました。8チームの申し込みがありましたので、体協役員と公民館職員で急遽オープン参加の1チームを作り、3コートで総当たりの予選リーグと順位決定戦の勝っても負けても4試合のハードなインディアカ大会でした。私もオープンチームで参加しましたが、何も用意していなかったので相手チームの方には大変失礼でしたが裸足に作業ズボンというスタイルで参戦しました。初めてインディアカをやってみましたが意外と面白いですよ。気持ちのいい汗がかけます。家に帰ってヘルスメーターで体重を計ったら3kg落ちていました。だけど、夕食のビールが美味しいくて、美味しいで、2杯飲んでしまいました。次の日体重は元に戻っていました。私はこれで自分が単なる水太りであることに気づきました。参加されたみなさん、ビールは美味しいですか?ビール太りには気をつけましょう!

♪始まりましたよ 坂本の小学校創立100周年記念事業！全校集合写真からウォーリーを探せ！探し！探し！



茄子川村と千旦林村が明治30年4月1日に合併して坂本村が誕生する前に遡ること明治5年に新政府から学制が発布されると、中津川興風義校の分校として同6年に千旦林は「松風舎」、茄子川は「道生舎」と名付けて開校しました。同8年に興風義校から独立して千旦林は松風校、茄子川は省慎義校となり、移転をする中で高等科を設置するなどしながら、同42年2月に東町にあった茄子川尋常高等小学校と中平にあった千旦林尋常高等小学校が合併し、現在の小学校の位置に坂本村立尋常小学校として発足し、3月に高等科を設置して、坂本村立尋常高等学校となりました（参考文献：坂本の記録写真集）。ということは今年は創立101年目？細かいことは抜きにして、現在、坂本小学校ではPTA本部役員の方々の理解と協力を得ながら坂本小学校創立100周年記念事業を進めています。上の写真はその事業の一つで、①人文字のみ、②学校と人文字、③私たちの町、④大空からのメッセージ（校歌が右側に印刷されています）、⑤全校児童集合写真の航空写真5カットを撮影しました。小学校では保護者の取りまとめは済んでいます。もし、一般の方で購入をご希望の方がいらっしゃいましたら、公民館に見本が置いてありますので、見本と値段を確認していただき、代金を添えてお申込みいただけます。ただし、申し込みは8月2日～13日の平日8時30分から17時15分までです。電話でのお申込みはお受けできませんのでご了承ください。なお、記念式典は10月15日に開催予定です。ちなみに明治42年は伊藤博文が暗殺され森永チョコレートが発売された年です。100年経た今、坂本小学校は中津川市で一番のマンモス校になりました。

お知らせ

坂本コミュニティセンター リサイクルボックスのご利用について

リサイクルボックスに持ち込み可能な資源

- ・新聞紙・ダンボール・雑誌
- ・トレイ
- ・発泡スチロール
- ・雑紙（紙袋かレジ袋に入れてください）

※布類は持ち込まないでください。

※資源ごみなどは指定日に持ち込んでください。

午前8時30分～午後5時15分まで

8月	行事名	会場等
2日（月）	乳幼児なんでも相談	麦の穂会館
7日（土）	第40回坂本盆踊り大会	小学校運動場
8日（日）	風流おどり総練習	東美濃ふれあいセンター多目的広場
12日（木）	資源ごみの日：千旦林	
13日（金）	おいでん祭	中津川駅前周辺
16日（月）	燃えないごみの日：千旦林	
18日（水）	資源ごみの日：茄子川	
22日（日）	自主防災リーダー養成研修	坂本公民館
22日（日）	小学校資源回収	
23日（月）	燃えないごみの日：茄子川	
24日（火）	区長会	坂本コミセン
26日（木）	はなのき大学	坂本公民館
29日（日）	中津川市総合防災訓練	各会場

大募集

坂本浄化センターの愛称をします

現在整備を進めている坂本地区の下水道処理場、坂本浄化センターが平成23年3月に完成します。そこで、この施設を市民の皆様に、より身近に感じていただけるように、愛称を次のように募集します。親しみやすい愛称をつけてください。

■募集内容

坂本浄化センターの愛称とその由来

■募集期間

平成22年8月2日（月）～同年9月10日（金）

■応募資格

市内在住、在勤、在学の方

■審査・発表

選考委員会で厳正に審査し決定します。採用された方には賞状および賞品を授与します。愛称は広報なかつがわ及び市ホームページで発表します。

■応募方法

市役所水道部下水道課または坂本コミュニティセンターへ郵送またはご持参下さい。応募用紙は市役所1階総合案内窓口または坂本コミュニティセンターで配布します（市ホームページからダウンロードすることもできます）。

問い合わせ：市役所下水道課

Tel: 66-1111 内線523



平成22年8月から父子家庭の父にも
「児童扶養手当」が支給されます

大切なお知らせです

ひとり親家庭の自立を支援するため、平成22年8月から父子家庭の父にも児童扶養手当が支給されます。

申請手続きに必要なものは？

申請に当たって必要な書類は世帯の状況により異なりますので、障害援護課までお問い合わせください。

気をつけてください

所得による支給制限がありますので、手続きをしていただいても手当が支給されない場合があります。

詳細は広報なかつがわ7月号7頁をご覧ください。

問い合わせ 障害援護課 66-1111（内線617）

出番が来ました！いつでも声かけて！

第12期健康推進員坂本支部の活動も2年目を迎めました。今年度も松井常子支部長を中心に、和気あいあいと会を進めていければと考えています。

昨年は「自分の健康は自分で守る」という目標に基づき、支部会では健康体操等自分たちが健康になれるような活動を行ってきました。今年度は一歩進んで、地域のみなさまにも健康を広げられるような活動を進めていきたいと考えています。健康推進員の間で、地域の健康問題について話し合い、出てきた問題について学習を深めていくような内容を検討しています。支部会には、健康推進員を中心に声をかけて、地域のみなさまにもご参加いただき、健康について考えていただける場について

きたいと考えています。地域のみなさまのご協力をよろしくお願いします。また、健康推進員として坂本地区の中で活動できる場がありましたら、協力させていただき、活動の場を広げていきたいです。お気軽に声をおかけください。問い合わせ：坂本コミセン 千村

